

JIS L 1902 繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果

ハロー法(定性試験方法)

● はじめに

検体の抗菌性をハロー(発育阻止帯)の有無によって評価する試験方法です。

検体が試験菌の発育を抑制する効果があれば、試験菌を培養した後にハロー(発育阻止帯)が形成されます。

繊維製品が対象の試験方法ですが、平板培地中に有効成分が拡散するものであれば、液体など、繊維製品以外の検体でも試験可能ですので、ご相談ください。

● 試験概要

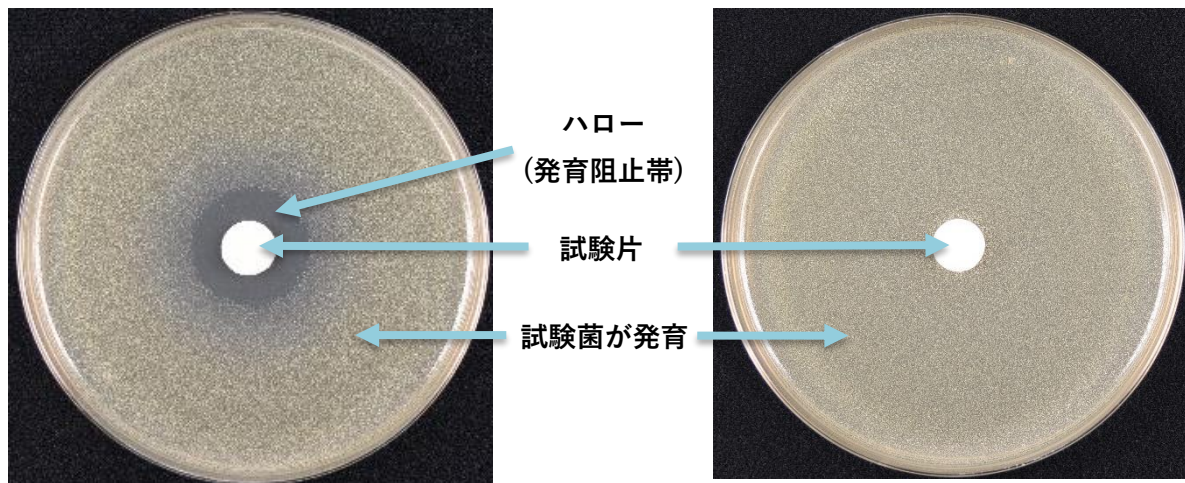
試験菌と寒天培地を混合し、試験平板を調製します。試験平板の上に検体(試験片)をのせ、培養後にハロー(発育阻止帯)の有無を確認します。

※ 試験菌種によって寒天培地の種類、試験平板の作製方法、培養条件を変更します。

※ 液体の場合は、ペーパーディスクに含浸させたものを試験片とします。

試験菌：黄色ぶどう球菌，大腸菌など，様々な菌種で試験可能です。ご相談ください。

● 試験平板のイメージ



ハロー(発育阻止帯)：有

ハロー(発育阻止帯)：無

● 検体必要量(1菌種あたり)

A4 サイズ 1 枚以上

または

10 mL 以上

● 納期(目安)

約 1 か月～

ご依頼のタイミングや

試験菌種などで変動します。

● 価格

3.2 万円～

詳細はお問い合わせください。